



2023年度(令和5年度)
峯 第2号 第41号(復活通巻)
2024年3月31日発行

I.山行 公益事業等 報告	-	1~5
II.行事等、報告、案内・連絡	-	6
III.今後の予定	-	7

令和6年能登半島地震

令和6年1月1日16時10分 石川県能登半島にてマグニチュード7.6の
大きな地震が発生し、津波が能登半島を襲った。

震源地に近い珠洲市では多くの建物が倒壊、輪島市、穴水、七尾市でも建物が倒壊、
朝市通りの周辺では火災が発生しその地域が全焼してしまった。

地震発生から携帯電話を始め通信手段が限られ、能登地区との連絡が出来ない状況が続いた。
石川支部でも能登地区に住まわれている方も居られたが連絡が付かず、後に SNS で無事を確認。
又、石川支部員で地震発生時から仕事にて能登に入った会員、輪島に御実家がありすぐに現地へ
向かわれた会員などから状況を聞くにつれ大変な災害が発生したことを実感した。
石川支部では状況が見えてきた1日夜に支部長判断で石川支部の積雪期会山行を中止・順延とし
1月2日に支部員にメール、SNS 等にて配信した(但し個人山行は制限せず)。

地震発生から50日以上を経過した2月23日に仕事にて再度能登に入られた会員撮影の
復興が進んでいない輪島の様子。 本誌発行の3月時点でもこの写真から復興が進んでいません。



地震発生時には本部の方々、全国の支部の方々より多くの
ご心配のメールや連絡を頂き、ありがとうございました。

幸いにも支部員に生命に係わる直接的な被害はありませんでしたが、
能登に御実家のある方は実家が倒壊された方、家に多少の被害があった方、
断水や道路が通れないことによる物資の不足により生活に苦勞されている方も居られますが
概ね支部員は無事であることをここにお知らせいたします。

Ⅰ. 計画山行・個人山行 報告

1. 深田久弥生誕 120 周年記念講演会と久弥祭

日時 : 記念講演 2023 年 10 月 21 日(土) 13:30~16:00 加賀市民会館 3 階ホール
萩原浩司氏(山と溪谷社)による記念講演「深田久弥と日本百名山」と座談会(石川支部 中川顧問登壇)
久弥祭 2023 年 10 月 22 日(日) 08:00~ 九谷ダム広場
メンバー : 中川、樽矢、堀、藤井、田井、大庭、徳田、尾山、下坂、大幡 萩原浩司氏、坂井広志氏

今年度の久弥祭は変則的となり、10 月 22 日(日) 山中温泉枯淵町の九谷ダム広場で開催された。

石川支部は実行委員会のメンバーとして久弥祭に深くかかわっている。

また、今年からは日本山岳会創立 120 周年記念事業の一つである“引き継がれる山岳祭”プロジェクトに取り上げられていて、これから日本山岳会が内外に広くアピールしていくことになる。

式典は例年通り、献酒、献花、献句、朗読がおこなわれた。献酒は樽矢支部長が行った。

実行委員会各会代表はもちろん、前日に行われた深田久弥生誕 120 年記念講演会の講師萩原浩司(山と溪谷社)氏や、引き継がれる山岳祭プロジェクトチームリーダー坂井広志氏の参列もあり盛大に行われた。

石川支部からは 10 名が参列した。

式典終了後、支部メンバーは、萩原浩司氏、坂井広志氏と深田久弥原点の山富士写ヶ岳に登った。

頂上では、多くの人たちが萩原さんとの記念写真で盛り上がっていた。

また、大庭会員が担ぎ上げた葦崎から献酒された 1 升瓶のワインの栓が抜かれ、頂上にいた皆さんに振舞われた。

〈10 月 21 日〉

萩原浩司氏(山と溪谷社)による記念講演
「深田久弥と日本百名山」



〈10 月 22 日〉

久弥祭 九谷ダム広場



〈10 月 22 日〉

富士写ヶ岳 頂上にて
萩原浩司氏、坂井広志氏と記念撮影



[文:大幡 写真:堀]

2. 五支部懇親山行 石動山 多根道

日時 : 2023年11月4日(土)、5日(日)

メンバー : 樽矢 大幡 大庭 埴崎 中川 藤井あ 黒崎 堀 堀岡 出水 長井 11名 他4支部26名 計37名

11月4日、5日にて日本山岳会 五支部懇親合同山行が石川支部主幹となり38名参加で石川県の石動山にて行われました。

4日は石動山を護る会より櫻井憲弘氏に講師としてお出でいただき「能登の霊峰 石動山の歴史」の記念講演を頂く。

又、大庭会員による、絵本「アルバータ山のピッケルのもがたり」芳賀淳子作を紙芝居にされて編集した映像には当時の写真も加えてお話をお聞きました。

講演会の後は講演会の後は恒例の懇親会に突入。

富山、岐阜、福井、京都・滋賀として自分たち石川支部より自慢のお酒を持ち込み歓談のひとつきを過ごす。



懇親会では今回の中能登町での集会準備に縁あって尽力いただいた福井さんも参加、お言葉も頂きました。福井さん神戸商科大学山岳部の出身であり、69年西部ネパールのパトラシ・ヒマールの遠征隊員で、カンデ・ヒュンチュリ南峰に登頂をはたしています、現在はOB B会の稜線山岳会の相談役をされています。

また神戸より急遽、石川支部の旧会員でもある八木澤美好君(さん)も遠路参加、ヤギさんはココヘリのオーセンテック(AUTHENTIC)の役員でもあり、懇親会では短時間でしたが、ココヘリの有効性などを話してもらいました。

話は尽きませんが、宿泊の場所柄深夜までの宴会は遠慮して、みな早々に床に。

翌日5日は朝方まで雨であったが出発時には晴れて11月とは思えない暖かいと言うより暑い日となり、大宮妨から庚申供養塔を經由し在りし日の石動山七口の一つである多根道【全国山岳古道120選に選定されています】を辿る。



大宮妨に戻り昼食後、石動山山頂「大御前」にも足を運び、石動山の史跡巡りを楽しんでもらいました。

コロナ禍で集会が2年も出来なかったのですが、皆さんのおかげで無事に開催する事が出来たことを感謝いたします。

また、先の中能登町の福井さん、それと鹿島少年自然の家で再会した石川支部元会友の中越さん(マイクロバスを出してくれました)など皆さんのお力での無事開催でした。あとこれは記録しておかないといけないのは、自然の家を退出する際に事務局長が各部屋を回り確認という事でしたが、ほぼ毛布や寝具のたみ方のNGを出されてほとんどたたみ直しをさせたことは申し訳なかったです。

次回、5支部合同懇親山行は福井支部担当となり、詳細はまた案内が来ますが、森田支部長から「一乗谷朝倉氏遺跡」と近隣の山を考えているとの事でした。

なお、石川支部の次の幹事は令和10年(2028年)となります。

申年ですので、なにか猿に縁ある山が良いかもです。

[文 : 樽矢 写真 : 堀]

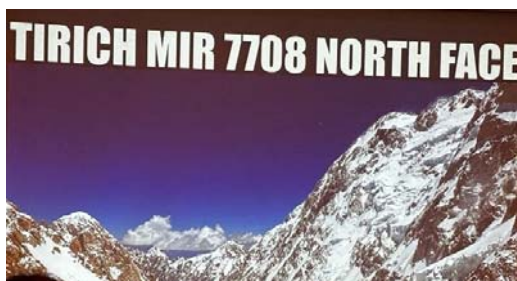
3. 年次晩餐会

日時 : 2023年12月2日(土)
メンバー : 樽矢 大幡 徳田 長井 4名

午前は支部担当者連絡会、歴史もあり大所帯なりの問題点と多々ありますし、全国にある各支部のそれぞれの事情もあり、ある意味、維持経営は難しいです。

新しいITツールを使いながら、会員に負担なく皆がなる程と思える案は更に難しいです。

新しい事に変えていく事より、伝統や歴史を次世代に繋げて行くの方がどれだけ困難なことか、自分も含めて皆さんの頑張りどころです。



講演会は平出和也さんと中島健郎さんのティリッチミール北壁の初登攀報告。スライドを交えながらの報告ですが、ロアーティリッチ氷河からの北壁直登ルートです。ロアーティリッチ氷河に入ったのも60何年ぶりではないだろうか。

ティリッチは石川支部も日本山岳会にも縁のある山です、石川支部は1971年に登頂、第5登になり、登頂ルートの南稜～南壁は初登攀になります。

講演の終盤に質問がありますかとの事で、71年に支部が登頂した際に、登頂した2名(岡本隊員と澤村隊員)が頂上直下でビバークした岩屋は分かりましたかとお聞きしました。平出さんから頂上少し下がった側に露岩帯があり、自分たちはそこまでいかなかったけど、もしかしたら岩屋などがあったかもしれませんとの回答を頂きました。登攀の記録は「ロック&スノー」102号に掲載されていますが、この挑戦がまさに昔の地図もない、行った人もいない、冒険と言うより探検的な登山ではと思える内容です。

ただ当時と違ってグーグルアースなどの鮮明な衛星写真である程度はイメージもつかめますが、ロアーティリッチ氷河に入るのも、北壁の取り付け点を確認するのも、すべて現地での判断となっています。

改めてお二人の経験値とメンタルの強さ柔軟さは、さすがに世界的なクライマーであると、感服した次第です。



また、先ほどの平出さんと中島さんとは立ち話ですが、ティリッチの話もさせて頂きました。

さらに甲斐駒黒戸尾根七丈小屋の花谷泰広氏とは登山道修理・整備の話もさせて頂きました。

登山道修理整備は各地方の有志がNPO法人組織を作り、賛同者を募り地道に進めている現状です、その中で修理の手法や材料を手探りで検証、成果を上げている組織もあります、特に北海道大雪山山守隊や山形県の取り組みは学ぶところがあります。

平出さん、中島さん、花谷さん、いずれの方もその笑顔や振る舞い、また先人に対する敬意や謙虚さは、世界のトップクライマーでありながら、お人柄もトップ岳人でした。

晩餐会は金剛山テーブルに石川支部4名、ほか稲門山岳会大先輩(余談ですが、元石川支部長の故小林雄二郎先輩は早稲田大学山岳部、稲門山岳会・鹿島槍冬季登攀などの記録があります)と首都圏会員が同席、山の昔話に暫しの歓談となりました。



日本山岳会の年次晩餐会は首都圏ならいざ知らず、地方にいる会員はなかなか参加しづらい会ですが、更にコストパフォーマンス的にも良いとは言えないと思いますが、ただ参加して食事をしてくる会では無く、前向きに自ら対面をし、情報などや旧交を積極的に習得するとすれば、日本山岳会年次晩餐会が有意義な会であることを改めて認識した今回の晩餐会でした。

最後に会員でも有らせられる今上天皇陛下のお言葉も伝えられ、また山の先輩方々にも会えて素晴らしい時間を過ごしました。

忘備としてティリッチミールの主な登頂を記しておきます。

1950年 ノルウェー隊(初登頂)

1967年 チェコ隊・オーストリア隊・日本人初も同年、近藤理昭さん市川山岳会、クルト・ディームベルガーと共に

1971年 日本山岳会石川支部(第5登)
岡本明男・澤村真治 2名登頂

1978年 福岡登高隊(ドクターは中村哲さん)

1991年 日本山岳会京都支部×パキスタン合同隊

1995年 バーバリアンクラブ(東京都山岳連盟)

[文:樽矢 写真:樽矢]

4. 野伏ヶ岳 1674.2m

日時 : 2024年2月17日(土)

メンバー : 樽矢 堀 2名

今日は土曜日で登山口の駐車場が混むので04:30に支部長と待ち合わせし、高速を使い福井から九頭竜ICへ、127号線から石徹白へ順調これなら駐車場は問題無い。

だが福井和泉スキー場を過ぎたあたりで目前に!?



ここまで来て冬季閉鎖・通行止め、石徹白ダムまで走り確認したが除雪無し!! 通れません、調査不足でした。

気を取り直し九頭竜湖から白鳥へ、ウイングヒルズ白鳥リゾートスキー場から石徹白、白山中居神社の駐車場へ。2時間遅れたので既に駐車場は満車状態、通路の空きスペースを見つけラスト1台でギリギリ滑り込み。

登山の前に駐車場争奪戦で疲れる。

夏道のない山なので冬期は林道からスタート、途中から登山者それぞれ好き勝手なショートカットで斜面に取り付き、大まかにはダイレクト尾根末端からと旧牧場跡を回り込むルートがあるが、自分たちは旧牧場跡の下を回りダイレクト尾根末端からのルートを選択する。

途中もショートカットトレースが多数、都度GPSで確認しながら尾根末端に取り付く。

ダイレクト尾根下部は幅の広い尾根だが地図と地形を見ながら忠実に尾根を辿ると徐々に細くなり間違わないと思う。



出発時から曇天であったがダイレクト尾根中間あたりから小雨、頂上付近はガスで真っ白、景色も見えず、

どこが頂上かも分からずGPSで頂上を確認し登頂。

ダイレクト尾根中間あたりまで下山した頃から頂上付近が晴れて来て野伏ヶ岳がお出ましに、下山すると晴れると言う登山あるあるでした。



自分の後に登頂した支部長はこの晴れの時に頂上だったとのこと、羨ましい。

来年も天気の良いときに

再訪決定です。

[文:堀 写真:堀]

II. 行事等 報告、その他 案内・連絡

1. 会務報告

- ・三水会 2023年10月18日(水) 19時～21時
参加 樽矢支部長 大幡副支部長 堀事務局長 他 計6名
議題 深田久弥生誕120周年記念講演会と久弥祭の案内と五支部懇親合同山行の段取り打ち合わせ
- ・三水会 2023年11月15日(水) 19時～21時
参加 樽矢支部長 大幡副支部長 堀事務局長 他 計6名
議題 深田久弥生誕120周年記念講演会と久弥祭の案内と五支部懇親合同山行についてスライドを鑑賞しながら報告会、年次晩餐会参加の確認
- ・三水会 2023年12月20日(水) 19時～21時
参加 樽矢支部長 大幡副支部長 堀事務局長 他 計6名
議題 年次晩餐会スライドを鑑賞しながら報告会、2024年1月からの会山行企画打ち合わせと会員配信
- ・三水会 2024年1月17日(水) 19時～21時
参加 樽矢支部長 大幡副支部長 堀事務局長 黒崎 村上 出水 長井 7名
議題 令和6年能登半島地震について会員被害状況の確認
- ・三水会 2024年2月21日(水) 19時～21時
参加 樽矢支部長 大幡副支部長 堀事務局長 田中 4名
議題 役員会と兼ねて、4月の総会準備
- ・三水会 2024年3月20日(水) 19時～21時
参加 樽矢支部長 大幡副支部長 堀事務局長 出水 長井 5名
議題 古道調査のまとめについて進め方の相談

2. 訃報

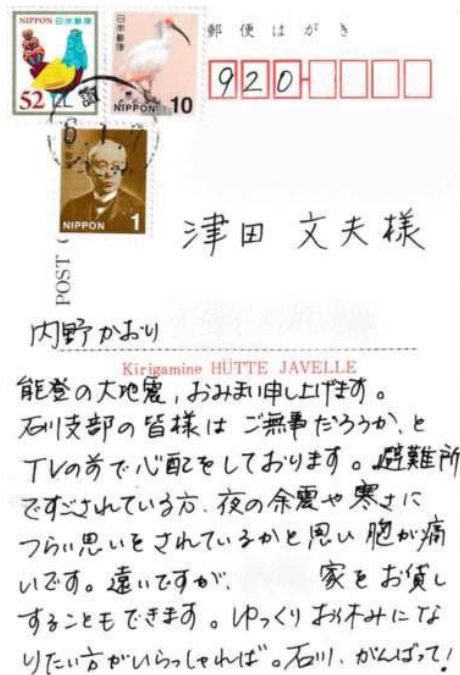
- ・太田 義一 (6756・永年会員) 不慮の事故により令和6年1月5日に御逝去されました。

3. 退会

- ・中村 まさ子 (16958) 個人の事情により令和6年3月31日に退会されました。

4. 案内・連絡

前の上高地山岳研究所の管理人さんである内野様から石川支部の津田さんへ震災見舞いの葉書を頂きました。内野様には石川支部は毎年夏に山研での研修会においていろいろとお気遣いを頂き大変お世話になりました。



III. 今後の予定

1. 行事予定

日本山岳会 120 周年記念事業

「引き継ごう 山岳祭 先人の精神を受け継いで、山岳文化を守ろう」 山岳祭に行こう！ として

<https://jac1.or.jp/about/iinkai/120kinen/2023041725468.html>

- 4月6日(土) 小島烏水祭 高松市 峰山公園 日本山岳会主催(日本山岳会四国支部主管)
- 4月21日(日) 深田祭 韮崎市穂坂 深田記念公園 韮崎市観光協会・白鳳会主催(日本山岳会山梨支部実行委員)
- 4月28日(日) 久弥祭 加賀市 富士写ヶ岳麓の九谷ダム 久弥祭実行委員会主催(日本山岳会石川支部実行委員)**
- 4月29日(昭和の日) 田部祭 山梨市 西沢溪谷 田部重治文学碑前 山梨市観光協会三富支部主催(日本山岳会山梨支部後援)
- 5月25日(土) 岡野金次郎碑前祭 平塚市湘南平 岡野金次郎顕彰碑前 日本山岳会神奈川支部ほか
第37回日本山岳会全国支部懇談会にて懇談会参加者も碑前祭参加予定、石川支部2名参加予定
- 5月26日(日) 泰澄祭 越前町 越智山 日本山岳会福井支部主催
- 6月1日(土)～2日(日) ウェストン祭 松本市 上高地梓川右岸ウェストン広場 日本山岳会主催(日本山岳会信濃支部主管)
- 6月2日(日) 播隆祭 富山市 河内地内の播隆上人の生家跡 日本山岳会富山支部主催
- 7月25日(木) 高頭祭 新潟県 弥彦山大平園地 日本山岳会越後支部主催
- 9月29日(日) 藤木祭 兵庫県芦屋市 高座ノ滝前 日本山岳会関西支部と大阪府山岳連盟と兵庫県山岳連盟の共催
- 10月20日(日) 木暮祭 北杜市 増富ラジウム峡金山平 木暮碑委員会主催(日本山岳会山梨支部は運営事務局)
- 10月27日(日) 楨有恒碑前祭 北九州市門司区 風師山 風頭 日本山岳会北九州支部主催
- 11月3日(日) 宮崎ウェストン祭 宮崎県高千穂町 三秀台 高千穂町と日本山岳会宮崎支部の共催
が挙げられています、石川支部に係わる久弥祭だけでなく他の山岳祭にも出かけませんか。

2. 令和6年度総会

4月6日(土) 金沢市総合体育館 第三会議室 にて14:00～ 行いますので是非出席をお願いします

編集後記

本支部報の一面にも掲載しましたが、新年早々に能登での地震災害、支部会員の不慮の事故死が続き慌ただしい年明けとなりました。
支部山行は中止・順延としましたが、石川県でもそろそろ桜が開花する頃となりましたので山に行きましょう。
しかし、今冬の雪の降り方が異常で各山域では雪崩が多発し事故に繋がっています。
又、不安定な天候と積雪による雪庇の踏み抜きや滑落事故も多発しています。
これから春山は全層雪崩になりやすく注意が必要です。
訓練・装備を万全に、安全に山行しましょう。

日本山岳会 石川支部報

発行日 2024年(令和6年度)3月31日

発行者 公益社団法人 日本山岳会

支部長 樽矢 導章

TEL/FAX : 076-237-5769

編集者 支部報担当 堀 正春

(事務局) TEL/FAX : 076-248-0175

E-mail isk@jac.or.jp

HP <https://jac-isk.com/index.html>